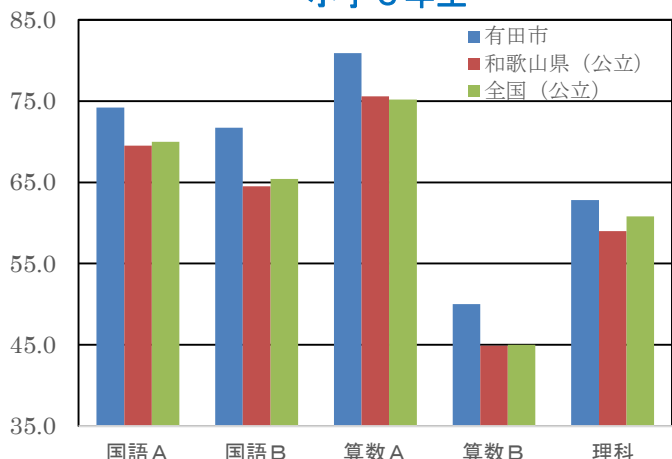


# 有田市の子どもたちの状況

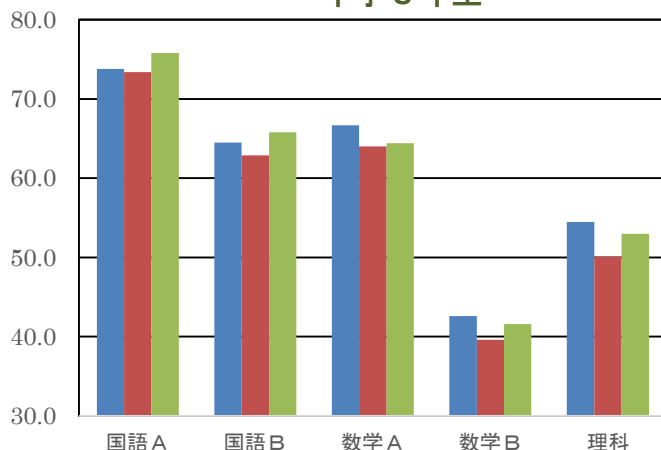
## 平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果から

国語 A・B, 算数・数学 A・B (Aは主として「知識」, Bは主として「活用」に関する問題) の平均正答率 (%) のグラフです。これらの結果を分析し, 教育活動の充実や日々の授業改善を図っていきます。

小学 6 年生



中学 3 年生



各教科の観点別平均正答率

3%以上高い◎, 3%以上低い▼, ほぼ同じ○ (全国比較)

国語科, まずこのこと!

国語 評価の観点	小 6		中 3	
	国語 A	国語 B	国語 A	国語 B
国語への関心・意欲・態度		◎ (9.0)		▼ (4.2)
話す・聞く能力	◎ (7.1)		○	○
書く能力	○	◎ (7.0)	○	▼ (4.2)
読む能力	◎ (5.2)	◎ (6.8)	○	○
言語についての知識・理解・技能	◎ (3.8)		○	

「条件にあわせて書く」活動を積極的に授業に取り入れるとともに, 目的や相手に応じて効果的に伝えるための文章構成や表現の工夫等についての指導を充実します。

○小学校では, 国語の力が着実に身に付いています。特に, 示された条件にあわせて自分の考えを書く設問において, 全国の正答率を大きく上回っていました。

○中学校では, 表現の工夫 (擬態語・倒置法等), 漢字の読み書きや活用, 単語の類別など言語についての知識・理解・技能に課題がありました。

算数・数学 評価の観点	小 6		中 3	
	算数 A	算数 B	数学 A	数学 B
算数 (数学) への関心・意欲・態度				
数学的な見方や考え方		◎ (5.8)		○
数量や図形についての技能	◎ (6.7)	◎ (5.4)	○	○
数量や図形についての知識・理解	◎ (5.1)	○	○	

算数・数学科, まずこのこと!

算数的 (数学的) な表現を用いた理由の説明や, 図形の性質を基に事柄が成り立つことを説明する指導を充実します。

○小学校, 中学校ともに算数・数学の力が着実に身に付いています。特に, 小学校では理由や求め方の説明, 中学校では証明といった記述の設問において大きな成果がありました。

○小学校では図形の特徴や性質を関連付けて考えること, 中学校では平面図形と空間図形を関連付けて考察することに課題がありました。

評価の観点	小6理科	中3理科
自然事象への関心・意欲・態度		
科学的な思考・表現	◎(3.2)	○
観察・実験の技能	○	◎(6.0)
自然事象についての知識・理解	○	○

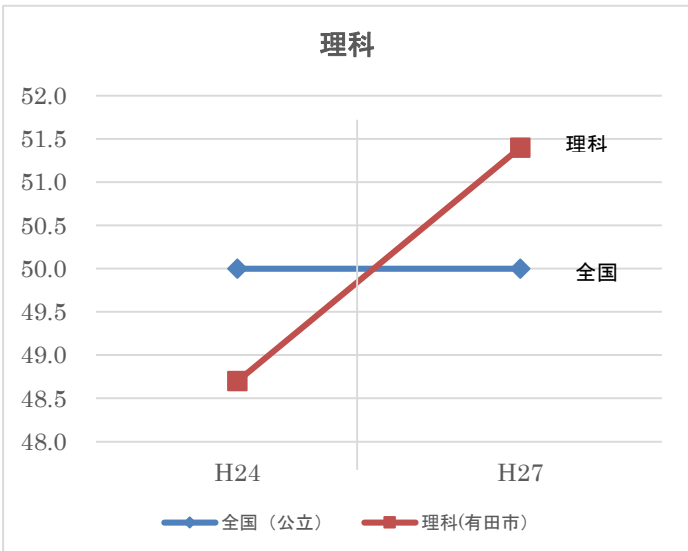
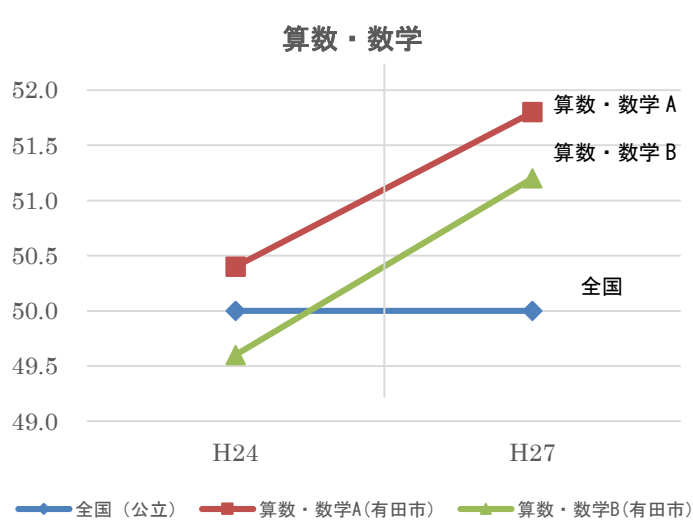
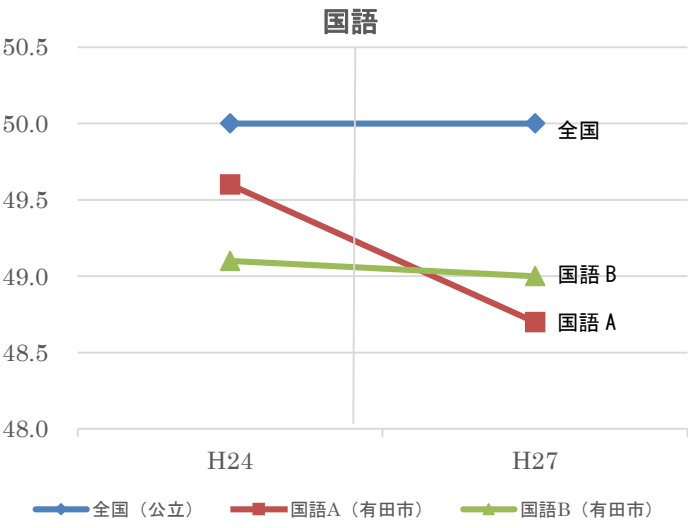
**理科，まずこのこと！**

「予想，観察・実験，結果，考察」の学習の流れを明確にしながらか実験・観察等の指導をより一層充実するとともに，自ら課題を設定し，追究する学習を積極的に取り入れます。

- 小学校，中学校ともに理科の力が着実に身に付いています。特に，小学校では観察や実験結果から考察すること，中学校では必要な実験を計画することに成果がありました。
- 小学校では，月の1日の動きや星座や雲の動きなどに関する設問に課題がありました。
- 中学校では，物質の名称を答える設問など，知識・理解に関する設問に課題がありました。

**中学3年生（平成27年）を小学6年時（平成24年）と比べると…**

平成27年度中学校3年と小学6年時（H24）のそれぞれの教科の平均正答率を，全国を50の基準量として比較したグラフです。（H24年度は抽出調査が行われましたが，有田市は業者委託により，全小中学校で調査を実施しました。）



中学3年生を，小学6年時から経年で比較すると，「算数・数学」「理科」については，大きな伸びがみられますが，「国語A」については，課題がみられます。義務教育9年間を見通した上で，それぞれの発達や学年に応じた指導を行い，その役割をしっかりと果たすよう取組を進めていきます。



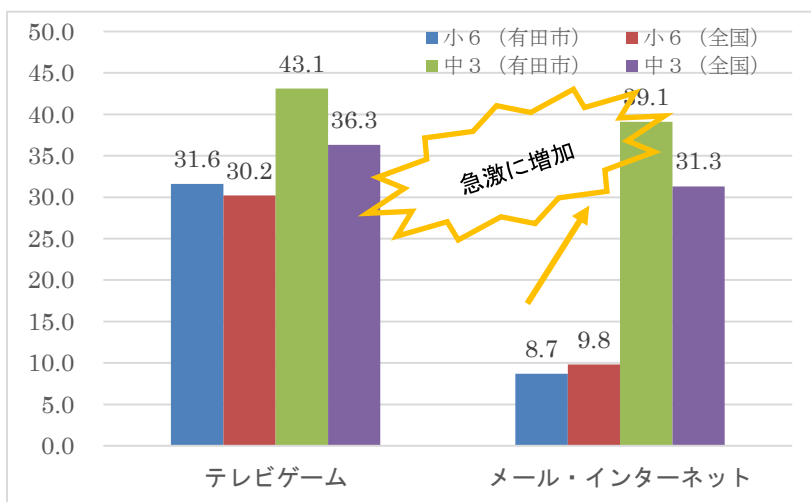
## 質問紙調査の結果から

### 基本的な生活習慣に関すること（早寝・早起き・朝ご飯）

質問項目 (※「している」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
朝食を毎日食べていますか。	87.8	87.6	78.9	83.8
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	43.0	39.2	28.0	31.4
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	67.3	60.0	57.3	56.2

就寝時刻が早いほど、「自分のことが好き」と答える子どもが多く、遅いほど「なんでもないのでイライラする」と答える子どもが多いそうです。(文部科学省調査)「早寝・早起き・朝ご飯」は、気力、体力、元気の源です。ご家庭でのお子様の就寝時刻は、決まっていますでしょうか。

### 普段（月～金曜日）、1日当たり2時間以上テレビゲームやメール等をしている割合



中学生になると利用時間が急激に増える傾向はこれまでと変わりませんが、中学生のメール等の利用時間は昨年度に比べて、4.5%減少しました。メールやネットを利用する際は、ご家庭で利用ルール（時・場所・場合）をお子様と話し合って決め、毅然とした態度で守らせることが大切です。

### 家庭学習の状況

質問項目 (※「している」と答えた割合)	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	34.2	27.4	15.4	16.5
家で、学校の宿題をしていますか。	94.3	87.4	58.9	65.8
家で、学校の授業の予習をしていますか。	21.3	16.7	11.0	11.9
家で、学校の復習をしていますか。	30.4	23.3	16.3	18.5

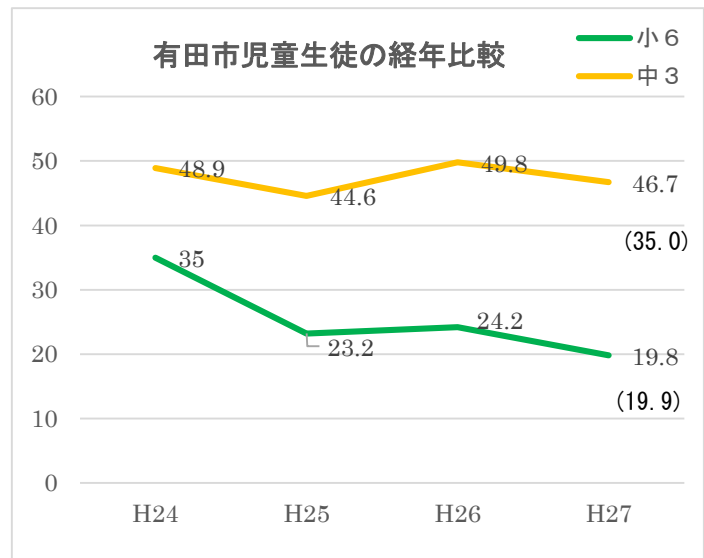
「宿題をしている」と回答した小学生の割合は高いのですが、中学生では約六割にとどまり、全国に比べると大きく下回っています。ご家庭で、学習の時間やスペースを決めるなどの約束ごとを決め、「宿題は確実にする」ことが身に付くよう、ご協力をよろしく申し上げます。その上で、自主学習などお子様が主体的に学習に向かうよう、励まし等の声かけをお願いします。

## 読書に関すること

質問項目	小6		中3	
	有田市	全国	有田市	全国
読書が好きな有田市の児童生徒の割合（「好き」「どちらかといえば好き」）	73.4	72.8	65.9	67.9
家や図書館で、普段（月～金曜日）に <u>全く読書をしない</u> （教科書や参考書、漫画や雑誌除く）有田市の児童生徒の割合	19.8	19.9	46.7	35.0

「学校の授業時間以外に、普段に全く読書をしない児童生徒の割合」の経年比較

「本を全く読まない子の割合」を経年で比較すると、小学校では少しずつですが減少してきています。「本を読む」習慣を身に付けることは、大きな財産になります。ご家庭でも、読み聞かせや親子読書に取り組んでみてはどうでしょうか。



「家の人と学校の出来事について話をすること」と「学力」には相関関係があります！！

下のグラフは、「教科の平均正答率」と「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をしますか」の質問のクロス集計です。（中学3年生のみ）国語Aについて「家の人と学校の出来事についてよく話をする」と答えた生徒の平均正答率は77.1%で、「全く話をしない」と答えた生徒の平均正答率は67.9%であるという見方をします。（※理科についても同様の傾向を示していました。）

### 中学3年生

学校は、学校だよりや学級通信などを定期的に発行しています。学校の様子を知るだけでなく、それらをきっかけにお子様のお話をしっかりと聞いてあげてください。学校ではいろいろなことがあります。我慢をしたり、不安やストレスを感じたりしていることもあります。お子様にとって、ほっとできる場は家庭であり、聞いてもらうことでたくさんの元気とやる気をもたらえます。

